

RA/8

RACFプロファイルと機能グループのコネクトを自動化

■ 製品概要

RA/8は、スタンダードなRACFリソースを用いて、機能グループとユーザー間のRACFプロファイル関係を管理します。すべてのデータのインテグリティを保持するために、ra8が必要とするすべての情報は、RACFデータベースに格納されます。

RACFサポート製品群

- ・ [RA2](#)
- ・ [RA7](#)

■ メリット

- ・ 人的エラーを軽減します
- ・ 整合性を保ちつつセキュリティを拡張できます
- ・ RACFプロファイル管理の自動化を実現します
- ・ RACF管理タスクの生産性を向上します



いちばん時間を要するタスクであるアクセス権限のアサインや識別などをRA/8は短時間で
行なうことができます

■ 生産性の向上

管理者（もしくは分散管理者）は手作業でユーザーのコネクトをしなくて済みます。ユーザーIDを入力し、個々のユーザーのモデルのすべて、あるいはユーザーがどのグループにコネクトされているかなどを閲覧することができます。

またユーザーが別の部署へ移動するなど、アサインしなおす必要がある場合でも、ユーザーのモデルを削除し、新しいモデルへとアサインすることができます。

■ セキュリティの向上とインテグリティの維持

ユーザーの配置転換などの際、現在の機能グループから削除され新しい機能グループへとアサインされます。もし手動で作業が行なわれる場合、システムから完全に削除できない可能性もあり、ユーザーが本来使用できないリソースへアクセスできてしまうなど、セキュリティ障害が発生してしまいます。

RA/8を使用すれば、このようなセキュリティ障害は起こりません。RA/8はRACFデータベースを検索し、特定のユーザーがコネクトされているすべての機能グループを識別し、システムからユーザーを適切かつ手動で作業するよりもわずかな時間で削除できます。

[TOP](#) ▲

[製品に関するお問合せ](#) ▶

Copyright (C) 2008 SoftPlex, Inc. All Rights Reserved

